図1:長野県上田市にある

平塚らいてう記念

展示ホール・図書室・茶室を備えた みんなで楽しむスペースです。 どなたでもお立ちよりください。

4月下旬~11月上旬 土·日·月開館

3.

ふるさ Someth omething

第38 連 載

般社団法人 efco.般社団法人 洸楓座 やはり 女性は太陽である j p 代表理事 を訪ね 佐藤 建吉

▼コロナと浄化 ムの第157号/第15

方で、withコロナな いう病魔は私たちの暮ら を変容させている。 新型コロナウイルスと [註1]。 g home』 に記した 8号に、『Stayin 「新しい生活様式」と

ドライブした。 5月のG 年初めて軽井沢の別荘に どという言葉も登場し、 た。筆者は、この時期今 政府の観光向け外出解禁 変容を常態化する様相さ **処策が始まり、ライフw** 0キャンペーンという 7月22日からは、Go Thコロナが実践され る面で望ましい。例え 肢であったが、インタネ 及も、後押しした。 呼ばれる暮らし向きは確 ットやケータイなどの普 HOは、従来からの選択 機づけが3密対策と合致 から指摘されていた働き し急速に定着した。SO 方改革であった。その動 かに定着することは、あ テレワークは、従来 これは、 発で終息する、あるいは る場合と同様である。コ 最終的にはワクチンの開 必須といわれている。現 ロナの浄化においては、 ▼2つの浄化 コロナ禍を浄化する。

のイベントを開催するこ しなければならない。そ んな意味で、筆者も独自 しかしコロナ禍は終息 が、多国で開発され認定 れは、一つの浄化であ されようとしている。そ る。それは、ピュアリフ 在、何種類かのワクチン

る。物理的な浄化である。

ァイ(purify)が該当す

あるが、現時世について

麓

Wの時期には、居住地の

千葉県で農業体験で過ご

た。その様子は、本コラ

UStay home

タルシス (catharsis)で カタルシスによる浄化が 頭のwithコロナは、 る意気込みに通じる。冒 向かう姿勢のことであ 浄化である。災禍に立ち ある。これは、精神的な ふさわしい。 り、コロナ禍を乗り越え もう一つの浄化が、カ 図2:「らいてうの家」 の展示(筆者撮影)

加

N.X.

た茨木のり子の想いを感 は今年10月9日に、戦争 そうした意味で、 いう災禍を詩で表現し 筆者

トの両方で行う、ハイブ で行われる。コロナの終 る。それを「浄化」とい 息には、2つの側面があ とにしている。それも、 う目線から、書き始める。 リッド (2元) イベント いわゆるリアルとリモー お知らせしたい。 る。詳しい案内は、 コロナ禍浄化~」であ 怒るときと許すとき』~ 木のり子―2020秋 プラザで開催する。「『茨 の青山の東京ウイメンズ じ取るイベントを、 東京

た詩人で、『わたしが一 う災禍についての詩作で を的確にとらえ、素直に 番きれいだったとき』に 06年 [平成18年] 没) 年 [大正15年] 生~20 は戦時下に女学生であっ した。それは、戦争とい 遠慮なく詩作として表現 代表されるように、時世 p/html/event.html 茨木のり子(1926 た。 スキー場の手前、

http://www.kofuza.

でもあった。 る。それは、浄化《カタ の警告ともとらえられ ルシス》についての表現

平和運動などを実践し

没)は、女性解放運動や 971年 [昭和46年] 平塚明 [はる]、188

平塚らいてう(本名、

木造の「らいてうの家」 のなかに落ち着いて建つ 山道を登ると、緑の木立 する。いろは坂のような のちょうど反対側に位置

があった【図1】【註2】。

6年 [明治19年] 生~1

る。軽井沢からは浅間山

▼平塚らいてうの カタルシス

である。

図 2]、

次の文章が有名

陽であった。真正の人で

「元始、女性は実に太

今、女性は月である。

曜日、クルマで出かけ 女性の自由・解放を推し る。早速、7月25日の土 日・月)だけ開館してい 念館であり、週末(土 進めた平塚らいてうの記 たからである。 の家」を訪ねようと思っ かけた理由には、近隣の 一由市にある「らいてう 「らいてうの家」は、 この時期、軽井沢に出 目的地は、菅平高原 あった。 った。 て うな蒼白い顔の月である。 れた月刊誌『青鞜』(せ によって輝く、病人のや 他に依って生き、他の光 いとう)の創刊号で、

この文章は、1911

(明治4年) に発刊さ

(あずまや高原)にあ である。

元始の太陽である。

真正

るよう

に、"

と思っている。

ひろば」とあ 協同・自然の

「元始女性は太陽であ の人である。 i

―青鞜発刊に際し

目的や使命である。令和 るのは、「真正の人」と は?であり、『青鞜』の その前後で語られてい

「らいてうの家」は、

現できる時代になってき 筆者も思う。もう一歩で たことは、事実であると 偉大なる潜在能力を」顕 女性の「潜める天才を、 ▼女性は太陽である 隠れた 彰された。訪ねてみると 田市から「上田市都市景 は、長野県建築士会から にこの施設を支え 表彰され、また地元の上 された。彼女ら 家9名からなる「女性九 「女性文化賞」として表 たちの協働につ 観賞」を受賞した。さら 人衆」によって設計監理 いては る女性

内して らいてうと地 に、 は、 いる。 当番で、平塚 二人の女性が 元のことを案 入り口 平和・ くれて それ ナ禍の浄化は、女性の精 来を包含している。コロ きる本能を有し、かつ未 女性は、暮らしを直視で た。それは、生命を育む 戦争だけが敵」と述べ 平塚らいてうは「ただ

0年、5月4日/5月1 7号/158号 (202 ING NEWS, 15 域のためのSOMETH 「地域の 地域による 地 【註1】本紙コラム

福」と書き添えてあっ me - and enjo $\stackrel{1}{\boxminus}$ y working ng Staying ho

【註2】 NPO法人平

者は、有史から女性は惑 星や衛星を従える太陽だ あった』①大月書店(1 **自伝 元始、女性は太陽で** 992年) p. 356 【註3】『平塚らいてう いている。結果、

で終わる。

の 確実に其の日に近づ 『青鞜』の表紙絵 载書 10

は『平塚らいてう自伝 という【図3】。この件 来するのであるが、森鴎 いる 【註3]。 た』の第1巻に書かれて 元始、女性は太陽であっ 青足袋』にはしなかった 外がストッキングを、鞜 と訳していたので、〃 其日は、女性は矢張り ー・ストッキングに由 最早女性は月ではな 図3:「らいてうの家」には雑誌『青鞜』(各号表紙絵も展示されている(筆者撮影)

書名の「青鞜」は、 と題する巻頭文の一節

2年のいま、 らいてうの ないが、明治44年から 書いた其日にはなってい ある。

長野県の地元の女性建築

の仕事 学院生だった女性に送っ たもので、「あなた方の 中にある無限の生命を祝 ている。この書も当時大 える活動と展開であった。 エコミュージアムとい 限創生」という書を遺し 平塚らいてうは、「無

神性にも係っている。筆 た。これは、1970年 images/nen_2020_32. http://www.kofuza.jp/ 塚らいてうの会 jp/raichounoie.html http://raichou.c.ooco. pdf